

第537回基礎科学セミナー

日時：11月22日（金） 9:30～11:00

場所：先端基礎研究交流棟1階 第1会議室

講演者：宇田川 眞行 氏

（広島大学大学院総合科学研究科 教授）

演題：ラマン散乱で何が分かるか

ラマン散乱は光の非弾性散乱で、観測できる素励起は格子振動、磁気励起、結晶場励起などである。これらは同時に観測できることから、観測されたモードの起源を明らかにすることが重要となる。これら素励起の内、格子振動については入射光と散乱光の偏光方向を変化させる実験から、格子振動の対称性が直ちに決定できる。これはラマン散乱だけの特徴で、X線や中性子非弾性散乱ではできない。なお、格子振動以外の磁気励起や結晶場励起も偏光依存性で対称性を区別できる。今回はかご状物質についての我々の結果を中心にラマン散乱の特徴を紹介する。

＜問い合わせ先＞
先端基礎研究センター
アクチノイド物質開発研究Gr.
芳賀 芳範(81-6735)